

乳幼児期家庭教育学級

にじっ子

「しあわせ」の おすそ分け

1. 信号のない横断歩道の側で 小学校低学年と思われる男児が4人待っている。運転手さんが車を停めた。停車を確認して少し急ぎ足で渡り終えると、**揃ってこちらを向き帽子をとって一礼をした。同じように……自然に……。**

思わず立ち上がって手をふった。4人もバスに向かって手をふっている。(11/4)

2. 今年も中学生の弁論大会があり(12/10)各校代表の10名の発表を聞いた。

- ①ほとんどあきらめかけていた夢、病院での職場体験で献身的な人たちの姿に接し「未来は自分の考え次第で必ず切り拓ける」と。
- ②いじめは暴力だけじゃない、暴言も見て見ぬふりも人として許されない。無関心だった自分にさようなら。関わっていく。
- ③絶望的な辛く悲しい経験だった。今、私たちは日本一・世界一しあわせな つながり合う仲間になっている。
- ④周りは敵・両親への反抗ものりこえて、今 冷静さも感謝もはっきり自分の中にある。
- ⑤キャプテンの重圧から最悪の日々だった。周りの励ましに気づき、自分らしさをとりもどして最強の心になっている。
- ⑥表に出るだけがリーダーではない。支え・励ます団長に撒し 周りをみつめることの大切さに気づけた。
- ⑦会話のキャッチボールが苦手な私。無理をして合わせるより 私は私らしくゆっくりと得意なことを伸ばしていく。
- ⑧誰かに任せる生き方ではなく自分がやる立場になって、教えられること・学ぶことが多くなり頑張れる気がしている。
- ⑨猛スパートの勉強も追いつかず……、あの挫折で考え方・生き方を変え、今ひたすら自分らしい努力で「前へ」。
- ⑩いつでも・誰にでも笑って返したいのに、心がそうさせないこともある自分。いつかきっとできると自分を信じて生きていきたい。



※発表者10名にも 聴衆の中学生たちにも

人は人の言動で傷つき 悩み・苦しみ続けることがある。でも**人は誰かとの出会いや自分の心の持ち方で 元気を与えられ希望を持って明日へと向かえる。**

7分でまとめた(実は長い時間の)心の成長の中には、支えられていると気づいたことの方がはるかに多かった。どうぞいつか**誰かを支えることのできる人になってほしい**と、講評を伝えました。

子どもが大好きです。子どもといっしょにいる時間がいちばん「しあわせ」。子どものそばが私の居場所です。

小学生も中学生もにじっ子も成長し続けています。

(文：垂井 美千代)

ほっとさんの教え（臼杵市家庭教育10か条）の中から

⑧ 信じると 子どもは責任をもって行動するよ

（子どものいない大人はいるけど）親のいない子どもはいません。どんなことがあっても「私の子どもだ」と愛情を注ぎ、「自立させる」と責任を感じている親（大人）がいる限り、子どもは必ず成長していく。

親の愛に勝る 成長のための抗生物質などないと思います。



にじっ子ひろば

2019・12・21

おすすめ絵本

『サンタクロースってほんとにいるの?』

てるおかいつこ：文 すぎうらはんも：絵 福音館書店

「サンタクロースってほんとにいるの?」と子どもに聞かれたら、皆さんはどのように答えますか? 「えんとつがなくともくるの? ドアにかぎがかかっているの?」なあって、**子どもの素朴な疑問の数々に、お父さんとお母さんがきちんと答えていく絵本**です。なかなか**ウェットに飛んだユニークな答え**に、思わず「上手い!」と言ってしまいますよ。ぜひお子さんと一緒に読んでみてください。



『子どもが幸せになることば』

田中茂樹：著 ダイヤモンド社

医師であり、臨床心理士である著者が、ご自分の子育て（4人のお子さん）やカウンセリングにいられた親子の話を例に挙げながら、0歳から思春期までの子育てについて、「言葉がけ」を軸にして記した育児書です。**子育てをしていく中で、「言葉がけ」は非常に重要**です。日頃ついつい口にしてしまいがちな「言葉」をちょっと視点を変えたり、ラクに考えるようにするだけで、子どもが自分で考えて行動するような「言葉がけ」にすることができるそうです。「**そのままのあなたがいい、「あなたがとても大事なのだ」と子どもに伝えることの大切さ**を改めて心に刻みました。もうひとつ、心に残ったことは、**家でリラックスさせてあげる**ということです。これらのことを心掛けることで、これからの子育てがかわってくる気がします。ぜひ、皆さんに読んでいただきたい一冊です!!



一冊目はこども図書館、二冊目は臼杵図書館所蔵です。予約もできます。市営駐車場の無料券(二時間分)もらえます。

